

令和 4 年 度 活 動 報 告 書

組織名	運営会議		
構成員 (◎：部会長 Pリーダー)	所属	所属	
	あ げ お 福 祉 会	第 2 ぶ ち と ま と	
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー み の り	い ず み の の 家	
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー わ お ん	上 尾 市 障 害 福 祉 課	
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ げ お	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ ら ぐ さ (事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○全体会運営の協議 ○各部会の活動内容調整 ○障害福祉計画に関する協議・差別解消地域支援協議会・日中サービス支援型(GH)との連携・研修動画の配信等を検討・協議していく。		
回	開催日	内容	場所
第 1 回	R4. 4. 26	・各部会報告（毎回実施のため以下省略） ・今年度の取組みについて確認	上尾市文化センター
第 2 回	R4. 7. 26	・サビ管部会から地域課題の共有 ・地域の事業所向け研修についての協議	上尾市文化センター
第 3 回	R4. 10. 25	・日中サービス支援型共同生活援助との連携の検討 ・障害者計画・障害福祉計画の進捗調査のためのアンケート作成について検討	上尾市文化センター
第 4 回	R5. 1. 24	・日中サービス支援型共同生活援助事業所（彩明会）より来年度開所に向けた事業内容の説明・共有を実施。	上尾市文化センター
第 5 回	R5. 3. 28	今年度の振り返りと次年度に向けて	上尾市文化センター
活動報告まとめ			
<p>○主に各部会からの活動報告を行い、地域課題について検討するよう努めた。</p> <p>○新たな取り組みとして、日中サービス支援型共同生活援助事業所との連携をはかるため、運営会議にて連携強化を行った。</p> <p>○地域で活躍する方々を講師とし、動画研修の配信を行っている。人材育成・啓発・質の向上の一助となる様、努めている。</p> <p>○差別解消地域支援協議会では、サビ管部会と協力し、通所事業所に通う方に対し、当事者アンケートを実施した。現在集計中である。</p>			

令和 4 年 度 活 動 報 告 書

組織名	支援センター部会		
構成員 (◎: 部会長 Pリーダー)	所 属	所 属	
		障害者生活支援センターみのり	上 尾 市 障 害 福 祉 課
		障害者生活支援センター杜の家	桶 川 市 障 害 福 祉 課
		障害者生活支援センターあげお	伊 奈 町 社 会 福 祉 課
		障害者生活支援センターあらぐさ	相 談 支 援 セ ン タ ー わ お ん (事務局) 基幹相談支援センター
活動内容	○新規相談実績報告及び事例検討会を通して、相談業務における「情報発信と共有の場」、「困難事例の検討の場」、「援助に関する学びの場」として地域課題の整理や解決策を考える機会とする。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R4. 4. 13	1 今年度の部会の活動について 2 新規相談実績報告 (2・3月分)	上尾市文化センター
第 2 回	R4. 5. 11	1 前回の部会の振り返りと共有 2 事例検討 (事例提供: わおん、桶川市)	上尾市文化センター
第 3 回	R4. 6. 8	1 前回の事例検討のまとめ 2 新規相談実績報告 (4・5月分)	上尾市文化センター
第 4 回	R4. 8. 10	1 居宅・訪看事業所一覧の更新について 2 新規相談実績報告 (6・7月分) 3 委託・行政相談事例検討会について	Z O O M
第 5 回	R4. 9. 14	1 前回の部会の振り返りと共有 2 事例検討 (事例提供: 上尾市、みのり) 3 委託・行政相談事例検討会のお知らせ	上尾市文化センター
第 6 回	R4. 11. 9	1 新規相談実績報告 (8～10月分) 2 前2回の事例検討の振り返りと意見交換	上尾市文化センター
第 7 回	R4. 12. 14	1 事例検討 (事例提供: あげお、伊奈町) 2 計画相談部会との情報交換会について	上尾市文化センター
第 8 回	R5. 2. 8	1 これまでの事例の振り返り 2 事例検討 (事例提供: 杜の家、あらぐさ)	上尾市文化センター
第 9 回	R5. 3. 8	・計画相談部会との合同「情報交換会」 1 地域の相談支援体制について 2 計画・委託の連携事例について 3 グループによる情報交換	上尾市文化センター
活動報告まとめ			
<p>○各支援センター及び行政が抱えている困難ケースについて事例検討を行い、そこから考えられる課題を抽出してシートにまとめ、その課題について部会として取り組んでいくべき内容について整理・共有を図り、次年度以降に取り組むこととした。また、困難事例についての意見交換を行うことにより、情報共有や援助に関する学びの場とすることができた。</p> <p>○関係機関との連携として、圏域の計画相談支援事業所と委託相談支援事業所との繋がりをより強めていくことを目的として、計画相談部会と共催で情報交換会を行った。圏域における相談支援体制についての再確認とそれぞれが抱えていた連携の在り方について情報交換をすることにより、今後の相談支援体制について深めることができた。</p>			

令和 4 年 度 活 動 報 告 書

組織名	計画相談部会		
構成員 (◎：部会長 Pリーダー)	所属	所属	
	い ず み の の 家	上尾市児童発達支援センターつくし学園	
	ピ ュ ア ・ ス マ イ ル	桶 川 市 障 害 福 祉 課	
	け あ ビ ジ ョ ン 桶 川	(事務局) 基幹相談支援センター	
	芽 生 え の 会		
目的	○計画相談に関する課題抽出。整理を行う ○事業所意見交換会や研修会を開催し、交流を深め質の向上を図る		
回	開催日	部会の目的、内容	場所
第 1 回	R4. 4. 22	・今年度の活動内容について	い ず み の の 家
第 2 回	R4. 6. 15	・情報交換会に向けて内容等の確認	い ず み の の 家
情報交換会 (第 1 回)	R4. 6. 22	・第 1 回情報交換会「制度の活用と実際～移動系サービス編～」(18 事業所参加)	上尾市文化センター
第 3 回	R4. 7. 19	・情報交換会の振り返り	上尾市児童発達支援相談センター
第 4 回	R4. 9. 6	・情報交換会に向けて内容等の確認	上尾市児童発達支援相談センター
情報交換会 (第 2 回)	R4. 10. 25	・第 2 回情報交換会「計画作成におけるアセスメントのポイント」(16 事業所参加)	上尾市青少年センター
第 5 回	R4. 12. 2	・情報交換会の振り返り、次回の内容について	上尾市児童発達支援相談センター
第 6 回	R5. 2. 22	・情報交換会に向けて内容等の確認 (支援センター部会も参加)	上尾市児童発達支援相談センター
情報交換会 (第 3 回)	R5. 3. 8	・第 3 回情報交換会「計画・委託相談支援事業所との連携について～相談支援体制について考える～」	上尾市文化センター
第 7 回	R5. 3. 16	・情報交換会の振り返り、次年度活動内容について	Z o o m
活動報告まとめ			
<p>○新規事業所も加わり 19 事業所となった。密を避けながら対面での情報交換会を実施し、一人職場の事業所もあるため、横の繋がりを持てるよう機会を設定。制度などの事務的な内容と、今年度はアセスメントについても触れることが出来た。</p> <p>○各事業所からの質問とその回答を集め、行政からの意見ももらい Q & A を作成。各事業所の特色を共有したりガイドラインを見直すことで、疑問点を解消したり改めて計画相談の基本を見直す機会となった。</p> <p>○定期的な計画事業所状況の確認。オンラインによる事例検討会の実施。</p>			

令和 4 年 度 活 動 報 告 書

組織名	サービス管理責任者部会		
構成員 (◎：部会長 Pリーダー)	所属	所属	
	第 2 ぷ ち と ま と	K a u r i	
	ピ ュ ア ・ ス マ イ ル	り ん ご の 家	
	す み れ ホ ー ム	あ げ お 福 祉 会	
		(事務局) 基幹相談支援センター	
目的	<p>○就労支部・生活介護支部・グループホーム連絡会・放デイ支部・短期入所支部の障害福祉サービス種別に分かれ支部会を開催。圏域の事業所の連携強化・質の向上を目指し、地域課題に取り組む。</p> <p>○各支部の活動報告、課題共有を部会で行い、協議する。</p>		
回	開催日	活動内容	場所
サービス管理責任者部会			
第 1 回	R4. 7. 21	・各支部・連絡会の取組み、地域課題の共有	上尾市文化センター
第 2 回	R4. 11. 29	・各支部・連絡会の取組み、地域課題の共有	上尾市コミュニティーセンター
第 3 回	R5. 2. 17	・各支部・連絡会の取組み、地域課題の共有	上尾市コミュニティーセンター
活動報告まとめ			
<p>○各支部会長が集まり、各支部の活動内容の共有と地域課題について協議・検討を行った。</p> <p>○圏域の障害福祉サービスや、制度についての情報交換を行った。</p>			
就労支部			
第 1 回	R4. 6. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・就 1：事例検討「単身の就労者への支援」 ・就 2：工賃についての情報交換 	上尾市文化センター
第 2 回	(R4. 8. 26 コロナ延期) R4. 11. 4	・事業所職員交流会(サビ管・現場職員対象とした情報交換会)	上尾市文化センター
第 3 回	R5. 2. 3	・事業所職員交流会(サビ管・現場職員対象とした情報交換会)	上尾市コミュニティーセンター
活動報告まとめ			
<p>○地域連携・人材育成を目的に、就労継続 A 型・B 型の事業所のサビ管だけではなく、現場職員も対象とした連絡会を実施した。</p> <p>○連絡会アンケートからも事業所同士の交流が地域で求められているため、継続し連絡会を開催していく。また、勉強会の様な、地域で学べる機会も検討していきたい。</p>			

生活介護支部

第1回	R4. 6. 7	・強度行動障害についての事例検討 →養護者虐待の疑いケースへの支援 →服薬拒否・粗暴行為がある方への支援	上尾市文化センター
第2回	R4. 10. 4	・職員のストレスケアについて	上尾市文化センター
第3回	(R4. 12. 13 コロナ延期) R5. 2. 28	・次年度の活動内容について	上尾市文化センター

活動報告まとめ

- 生活介護事業所のサビ管が集まり支部会を開催した。
○強度行動障害の対応の難しさや、職員のケアについて情報交換を行った。
○次年度の取組みとして、サビ管だけでなく、現場職員の交流会等、行っていきたい。

グループホーム連絡会

第1回	R4. 5. 18	・連携・ネットワークづくりのため、パンフレットを持ち寄り、顔を合わせて実施	上尾市文化センター
第2回	(R4. 8. 17 コロナ延期) R4. 11. 25	・グループに分かれ情報交換	上尾市文化センター
第3回	R5. 2. 15	・事業所より課題や状況の共有について	上尾市文化センター

活動報告まとめ

- 各事業所の取組みと課題について情報交換を行った。
○この圏域の事業所状況を供覧できる仕組みが作れないかとの提案があり、検討している。

放ディ支部

第1回	R4. 6. 20	・この圏域の放ディに対しアンケート調査を行う	児童デイサービスやまと
第2回	R4. 11. 4	・アンケートの振り返りと今後の取組みの打合せ	あげお福祉会
第3回	R5. 3. 6	・各学校ヒアリング結果の共有 ・次年度について	上尾市文化センター

活動報告まとめ

- OR4. 12. 2 上尾特別支援学校、R4. 12. 26 かしの木特別支援学校、R5. 1. 24 伊奈町立小針小学校へヒアリングを実施。教育側との連携強化を模索し、次年度、学校と放ディとの連絡会開催を目指す。

短期入所支部

第1回	R4. 6. 24	・連携・ネットワークづくりのため、パンフレットを持ち寄り、顔を合わせて実施する	上尾市文化センター
-----	-----------	---	-----------

活動報告まとめ

- 入所施設・グループホームでの短期入所サービスを合同にしたため、各事業所の取組みの違いや対象者も異なっている事が分かった。次年度については、支部会は解散とし、地域生活支援拠点の取組みとして、連絡会等を開催することとする。

令和 4 年 度 活 動 報 告 書

組織名	こども部会		
構成員 (◎：部会長 Pリーダー)	所属	所属	
		相談支援センターわおん	埼玉県発達障害総合支援センター
		障害者生活支援センターあげお	県央地域療育センター
		上尾市東保健センター	桶川市子ども発達相談支援センター
		桶川市子ども未来課	子育て支援センター (事務局) 基幹相談支援センター
目的	○就学前時期に絞り「定例部会」にて地域の現状把握や課題整理。教育関連についての社会資源把握や連携の在り方を探る。また、「交流会」(テーマ：知り合おう・繋がろう)を開催し、勉強会を兼ねた顔の見える連携を強化する。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R4. 5. 24	・ R4 年度活動計画案の検討 ・ R4 年度第 1 回交流会の内容検討	上尾市文化センター
交流会	R4. 6. 14	・ テーマ「就学に向けての支援 ～家族から相談された時に～」(未就学関係 25 機関・44 名参加)	上尾市文化センター
第 2 回	R4. 7. 7	・ 交流会の振り返り、2 市 1 町教育委員会委に話を聞く・依頼する件について検討	上尾市文化センター
第 3 回	R4. 11. 30	・ 2 市 1 町教育委員会から話を聞く機会に関する最終打合せ。今後の交流会等について内容協議。	上尾市文化センター
第 4 回	R5. 2. 15	・ 部会にて、2 市 1 町教育委員会より「就学時検診・就学時相談」について話を頂く。	上尾市文化センター
活動報告まとめ			
<p>○昨年度に引き続き、未就学児に絞って活動を行った。</p> <p>○2 市 1 町、全ての未就学関係の関係機関や障害福祉サービス事業所(児童発達支援事業所等)が参加する形の「交流会」を実施。各グループ討議にて、就学に関する課題や悩みについて話題が多く挙がった。また 2 市 1 町それぞれの未就学の関係機関も含めた社会資源に違いがある事について話題が多く挙がった。そのため、まずは部会員として圏域の未就学関連に関する社会資源について詳しく知る・学ぶという活動内容に繋がっていった。</p> <p>○第 4 回の部会にて 2 市 1 町の教育委員会の方をお招きして、各市町村における状況や関係機関の機能について説明を頂いた。その後、部会員からの質問も含めて、意見交換や情報共有を行う事ができた。今後、今回学んだ内容をこの圏域へ(次回の交流会等)より良い形でフィードバックし活かしていきたいと考えている。</p> <p>○交流会については、本年度は 1 度のみの開催となってしまったが、令和 5 年度は年 2 回は実施していきたい。</p>			

令和 4 年 度 活 動 報 告 書

組織名	医療的ケア児等支援部会		
構成員 (◎：部会長 Pリーダー)	所属	所属	
	障害者生活支援センターあらぐさ	県立川島ひばりが丘特別支援学校	
	ピ ュ ア ス マ イ ル	上 尾 市 障 害 福 祉 課	
	訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン み や び	桶 川 市 子 ど も 未 来 課	
	重 症 心 身 障 害 児 施 設 ひ こ う き 雲	伊 奈 町 社 会 福 祉 課	
	上尾市児童発達支援センターつくし学園	(事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○医療的ケア児等を取り巻く状況について、情報を共有し切れ目のない支援に向けて、行政・関係機関と協議しながら連携を深めていく		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R. 5. 2. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3 年度の部会で抽出した課題と市町の庁内会議及び協議会での課題を共有 ・ 今後の取組み(来年度の社会資源マップ作成、プロジェクト化など)について協議 	上尾市文化センター
活動報告まとめ			
<p>○今年度前半、部会でどのような活動をしていくかを考えるため、事務局の基幹にて、2市1町の医療的ケア児等コーディネーター全員に集ってもらい、現状や感じている課題、この圏域でどのような活動が必要か等、情報共有や意見交換を実施した。その後、各市町において実施すべきとされている医療的ケア児の庁内会議について事務局として参加すること、各市町担当者へ直接のヒアリング訪問を行った。それらの準備活動に時間を要してしまった事もあり、本年度は部会として集まって頂く機会は1度のみとなってしまった。</p> <p>○課題としては、情報発信・普及啓発・人材育成・医療・療育・教育・福祉サービス等と多岐に渡っていること、2市1町での地域差(今まで取り組んで来たこと・今後取り組むべき優先順位の違い等)があることが分かっており、圏域単位として具体的に何を実施すべきか、引き続き難しい検討課題と感じている。</p> <p>○上記の状況を鑑みて、部会において、来年度は「医療的ケアの方が知りたい、関係機関や使える福祉サービス等の社会資源」について整理・見える化(マップ作成)を取り組む事と決め、形式としては、単年度のプロジェクトで活動を実施していく事が望ましいという結論となっている。</p>			

令和 4 年 度 活 動 報 告 書

組織名	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム検討部会		
構成員 (◎：部会長 Pリーダー)	所属		所属
	上尾市障害福祉課		桶川市障害福祉課
	伊奈町社会福祉課		埼玉県立精神保健福祉センター
	武蔵野病院		埼玉県立精神医療センター
	上尾の森診療所		済生会鴻巣病院
	鴻巣保健所		障害者生活支援センター杜の家
	相談支援センターわおん		(事務局) 基幹相談支援センター
目的	○部会を市町の協議の場として位置付ける ○実践から多機関の役割、機能を互いに理解共有し、連携の在り方を検討する ○地域精神保健福祉研修プログラムに関する研究チームを発足する		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R4. 5. 13	<ul style="list-style-type: none"> ・ R4 年度活動計画案の検討 ・ R3 年度の各機関からの事例提供進捗状況確認 	上尾市文化センター
第 2 回	R4. 7. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神障害者福祉型訪問支援強化モデル事業（埼玉済生会鴻巣病院アウトリーチ支援科）の役割、機能と事例 	上尾市文化センター
第 3 回	R4. 9. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上尾市健康増進課の役割、機能と事例 	上尾市文化センター
第 4 回	R4. 11. 13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鴻巣保健所の役割、機能と事例 	上尾市文化センター
第 5 回	R5. 1. 13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉県立精神保健福祉センターの役割、機能と事例 	上尾市文化センター
第 6 回	R5. 3. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桶川市健康増進課・伊奈町健康増進課の役割、機能 	上尾市文化センター
地域精神保健福祉研修プログラムに関する研究チーム (※部会の下部チーム)			
全 6 回	4 月・6 月 8 月・10 月 12 月・2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多職種、多機関連携を高める研修の作成 ・ 2 市 1 町のケースマネジメントシートの作成 ・ 2 市 1 町の社会資源マップの作成 	上尾市文化センター
活動報告まとめ			
<p>○精神障害にも対応した地域包括ケアシステム検討部会と名称を改め、市町の協議の場としてチーム会議を含め全 12 回開催した。今年度は、医療に加え保健分野の取組に焦点を当て、各機関の役割機能のプレゼンテーションと事例提供を行い、連携の在り方を検討した。</p> <p>○地域精神保健福祉研修プログラムに関する研究チームは上尾の森診療所の安間 Dr をチーム長とし、当事者、家族も参画し、地域包括ケアシステムに必要な事柄に具体的に取り組んだ。</p>			

令和 4 年 度 活 動 報 告 書

組織名	権利擁護プロジェクト		
構成員 (◎：部会長 Pリーダー)	所属	所属	
	障害者生活支援センターあげお	伊奈町社会福祉課	
	あげお福祉会	(事務局) 基幹相談支援センター	
目的	〇2市1町圏域の障害福祉サービス事業所における虐待防止・権利擁護の意味、重要性を明確にし、充実する地域の仕組みや体制づくりについて、研修開催等を通じて検討・調査し、それに関する内容と所見や考察も含めて報告・提案を行う。		
回	開催日	活動内容	場所
第1回	R4.5.12	・集合型の研修企画、年間計画の検討	事業団あげお
第2回	R4.7.12	・研修会①の打ち合わせ	事業団あげお
研修会(第1回)	R4.7.28	・「虐待防止・権利擁護研修」(意見交換会)の実施	Z 0 0 M
第3回	R4.8.24	・研修の振り返り。アンケート結果の集計等、今後の権利擁護PJのロードマップ作製	事業団あげお
第4回	R4.10.21	・第2回研修企画・運営(①研修内容の方向性、講師依頼の段取り確認。②運営会議準備)	事業団あげお
第5回	R4.12.7	・第2回研修講師と打ち合わせ	(社福) 邑元会しびらき
第6回	R4.1.18	・第2回研修内容確認(資料関係・出席確認・GW用G分け・アンケート)	事業団あげお
研修会(第2回)	R4.1.30	・「虐待防止・権利擁護研修」権利擁護の知識及び虐待関係グレーゾーンに関するグループワーク	上尾市文化センター
第7回	R4.2.22	・研修アンケート検証・令和4年度活動報告作成	事業団あげお
活動報告まとめ			
<p>(1) 昨年度企画を進めていた、権利擁護に関する地域集合型研修を実施(2回)</p> <p>①【第1回「虐待防止・権利擁護研修」結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合型研修で予定していたが、感染症の影響もあり、急遽リモートでの開催。 ・前年度アンケートの結果の共有及び結果を基にした情報交換会をおこなっている。 ・地域の入所系事業所・就労系事業所・居住系事業所(GH)のサービス管理責任者を対象として実施し33事業所からの出席があった。情報交換会では、今年度義務化の虐待防止委員会の設置・内容や虐待関係のグレーゾーンの考え方を中心とした意見交換が活発に行われた。 ・研修アンケートも、内容を集計・分析し、地域ニーズの把握の一助になったと考えられる。 <p>②【第2回「虐待防止・権利擁護研修」(講師：しびらき施設長・相浦氏)結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりの集合型の研修を実施。対象は1回目と同様。ZOOMより話しやすい雰囲気であったという意見が多数で、講義も大変好評であった。出席は33事業所40名であった。 ・虐待グレーゾーンを中心に、県の権利擁護研修でも使っている内容を実施。GWでは盛んな意見交換がされると共に、自事業所での悩みや対応への不安などが見受けられた。 			

(2) 地域課題の検証などについて

- ①昨年度アンケートや集合型研修時のアンケートの集計及び分析による、地域の権利擁護に関する取り組み状況の確認や、地域のニーズ・課題の抽出を行った。
- ②主だった地域での話題(ニーズ)については、虐待防止委員会について(実施手法等)・虐待グレーゾーンについて・地域研修の場の確保について等が挙げられている。
- ③PJ としては、権利擁護のための前向きな取り組みについての意識の向上が、地域で必要であるのではないかといった課題感を感じた。
- ④現在地域の研修希望を具体化し、実際の研修場面を作ることが出来た。同時に今後も基礎的な内容の研修ニーズが特に小規模事業所からは出ており、継続が必要と感ずることと、管理者向けの組織作り、虐待防止委員会の内容等の共有等の希望が出ていた。

(3) 運営会議への報告について

- ①上記の地域ニーズ等については、始めとした地域の権利擁護に関する調査・検討、ニーズや課題について自立協運営会議へ報告発表している。

(4) 次年度以降の活動について

- ①運営会議での意見を基に、PJ 目標の見直しや、今後のロードマップを作成。ロードマップはR3～R5の3カ年の計画で作成。今年度の研修結果から、次年度の実施内容として(案1)研修ニーズを既存部会に分配し、プロジェクトを解散すること。(案2)プロジェクトは継続し、各委員会への研修ニーズの引継ぎ、研修実施方法の補助などを中心に、各委員会への段階的移行の1年にする方向性で実施したい。

令和 4 年度 活 動 報 告 書

組織名	地域生活支援拠点等整備プロジェクト		
構成員 (◎：部会長 Pリーダー)	所属		所属
	上尾市障害福祉課	伊奈町社会福祉課	
	桶川市障害福祉課	(事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○地域生活支援拠点に関わる現在の進捗や今後の体制整備について検討する。 ○要領や関連事業所団体の整備に関する仕組みづくりについて検討する。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R4. 4. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・ R4 年度のプロジェクトの在り方の検討 ・ 相談関係の加算や運営規程、その他課題の整理・確認 	伊奈町役場
第 2 回	R4. 5. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登録会議や登録助教の確認、夜間の行政連絡の取り決め、拠点関連の加算の取り扱いについて検討 	桶川市役所
第 3 回	R4. 6. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要領の整備についての検討 	上尾市役所
第 4 回	R4. 7. 21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居室確保事業に関する課題検討 ・ 要領やガイドラインについての検討 	伊奈町役場
第 5 回	R4. 9. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登録状況等の確認、緊急の定義について検討 	上尾市役所
第 6 回	R4. 10. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要領案の修正、検討、今後のプロジェクトの在り方の検討 	伊奈町役場
第 7 回	R4. 12. 21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施要領の再修正、ガイドライン案確認 	上尾市役所
第 8 回	R5. 1. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉県障害者地域支援体制整備事業アドバイザー派遣にて、埼玉北地区基幹相談支援センター「トロンコ」吉澤氏からの話、意見交換 	伊奈町役場
第 9 回	R5. 2. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先月の振り返り、ガイドライン「2. 緊急時の受け入れ・対応」の課題検討 	桶川市役所
第 10 回	R5. 3. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要領、ガイドラインの今後の確認 ・ 相談強化加算や緊急受入れに関する課題の検討 	伊奈町役場
活動報告まとめ			
<p>○本年度は、基盤・仕組み作りに関する協議が重要であったため、地域のサービス事業所は交えず（プロジェクトリーダーも置かず）、2市1町行政担当者（幹事担当上尾市は2名体制）と基幹センター職員4名で、年間通して協議を行った。</p> <p>○プロジェクトにて、現状の登録状況やそれを決定していく会議の状況について確認をし、課題の整理・検討を行った。</p> <p>○現在、実施要領やガイドラインが無い状態であり、拠点の充実に繋げるために整備について検討を行った。決定・確定をし周知するところまではいかなかった事が反省点ではあるが、現状の仕組みも見直しながら、国が出している拠点に関する各種加算について、この圏域での在り方を模索し、来年度以降のより良い改善に向けて準備ができた一年となった。</p>			